



答え

- 1 高度房室ブロックの定義として正しいのは？
 - a) PQ間隔が延長し続ける状態
 - b) P波がまったく見えない状態
 - c) P波が一定で、2つ以上のP波が連続で伝導されない状態
 - d) 心房と心室が全く独立して動いている状態
- 2 高度房室ブロックで障害されている可能性が高い部位は？
 - a) 洞結節
 - b) 房室結節より下（His束～脚）
 - c) 心房筋
 - d) 冠静脈洞
- 3 完全房室ブロックの心電図所見として最も重要な特徴は？
 - a) PQ間隔が延長している
 - b) P波とQRS波が独立して出現する
 - c) QRS波が細くなる
 - d) T波が消失する
- 4 完全房室ブロックなどで上位からの刺激が遮断された際、心室が自発的に規則的なリズムを刻む現象は？
 - a) ペーシング
 - b) 洞調律
 - c) 補充調律
 - d) 交感神経反応
- 5 次の心拍が出ないとき、心室から出現する通常より遅いQRS波は何と呼ばれる？
 - a) 洞調律
 - b) 異常伝導波
 - c) 補充収縮
 - d) ペーシング波
- 6 完全房室ブロックのリスクとして正しいのは？
 - a) 心室頻拍への移行
 - b) 高血圧の悪化
 - c) アダムス・ストークス症候群（意識消失など）
 - d) 肺高血圧症の進行
- 7 心房細動を伴う完全房室ブロックの所見で正しいのは？
 - a) P波が規則的に出現する
 - b) QRS波が消失する
 - c) f波が基線に常に出現し、RR間隔が不規則
 - d) f波があり、RR間隔が一定
- 8 心房細動に完全房室ブロックが合併していると、RR間隔が一定になる理由は？
 - a) 洞調律が回復しているから
 - b) 補充調律により心室が自律的に動いているから
 - c) P波が心室に伝導されているから
 - d) 心室が興奮していないから
- 9 2度房室ブロックと比較したときの完全房室ブロックの特徴は？
 - a) 一部のP波は心室に伝導される
 - b) QRS波が広くなる
 - c) すべてのP波が心室に伝導されない
 - d) PQ間隔が徐々に延びる
- 10 完全房室ブロックで補充調律が出ない場合に起こる可能性があるのは？
 - a) 頻脈性不整脈
 - b) 心房細動
 - c) 心室停止による失神や心停止
 - d) 洞性頻脈への移行